

令和3年度
新潟市秋葉区社会福祉協議会

地域福祉実践報告会

地域で行われている実践を学び、
「支え合いのしくみづくり」を一緒に考えてみませんか

- 日時 令和4年3月3日（木）
午後1時30分～午後3時30分
- 会場 新潟市秋葉区文化会館
- 主催 新潟市秋葉区社会福祉協議会
- 共催 新潟市秋葉区（健康福祉課）



プ ロ グ ラ ム

時間	内 容
13:30	開会 【主催者挨拶】 新潟市秋葉区社会福祉協議会 会 長 羽 生 隆 夫
13:35	基調講演 「地域の未来の描き方 - 持続可能な共生社会をめざして - 」 講師 大正大学地域創生学部 准 教 授 金 子 洋 二 様
14:00	実践報告 新栄町町内会 会 長 小松 茂夫 様 総務部長 山田 和宏 様 小口自治会まちづくり委員会 会 長 渡辺 淳 様 委 員 井田 あつ子 様 小合地区社会福祉協議会 副 会 長 田村 由美子 様 幹 事 鈴木 弘英 様
15:30	閉会

基調講演

地域の未来の描き方

-持続可能な共生社会をめざして-

講師 大正大学地域創生学部

准教授 金子 洋二 様

講師プロフィール

大正大学 地域創生学部

准教授 金子 洋二 様



【学位】

法学士（新潟大学）

社会学修士（英国・ハル大学）

【経歴】

1999年 5月～現在	地域と組織のデザイナー スタジオ・ファイル 代表
2001年12月～現在	NPO 法人まちづくり学校 理事
2002年 8月～2015年8月	NPO 法人新潟 NPO 協会 常務理事、事務局長、副代表理事、代表理事を歴任
2005年 5月～2010年3月	中越復興市民会議 議長
2011年 8月～2013年3月	新しい公共にいがた会議 代表
2016年 5月～現在	NPO 法人地域おこし 理事
2018年 4月～現在	大正大学地域創生学部 准教授
2018年 5月～現在	ささえあいコミュニティ生活協同組合新潟 理事

【委員歴】

新潟県有識者モニター会議委員（2006年～2015年）

新潟県 NPO との協働ルール検討実務者会議座長代理（2008年）

新潟県文化振興プラン策定委員会委員（2010～2011年）

環境省 持続可能な開発目標（SDGs）を活用した地域の環境課題と社会課題を同時解決するための民間活動支援事業アドバイザー委員（2017年～2019年）

新潟市秋葉区自治協議会会長（2019年～現在）

農林水産省 農山漁村振興交付金選定審査委員（2020年～現在） ほか

【所属学会】

日本 NPO 学会、日本社会学会、総合社会科学会

地域の未来の描き方

持続可能な共生社会をめざして

金子洋二

NPO法人まちづくり学校 / 大正大学地域創生学部



突然ですが・・・

まちづくりって
何でしょう？



まちづくりとは？

- まちを想うこと。その思いを叶えるために行動したり、行動している人を応援すること
- 住んでいる人が幸せでいられる場づくりかな？
- 顔が見えるようになること
- 地域経営課題に正面から向き合うこと
- 身近なことをコツコツやること
- 誰かがしてくれるものではなく、みんなでできることをやっていくこと
- 住んでいるまちに誇りを持つこと

(「まちづくりコーディネーター養成ブック マチダス」より抜粋)

つまり、「まちづくり」って何？

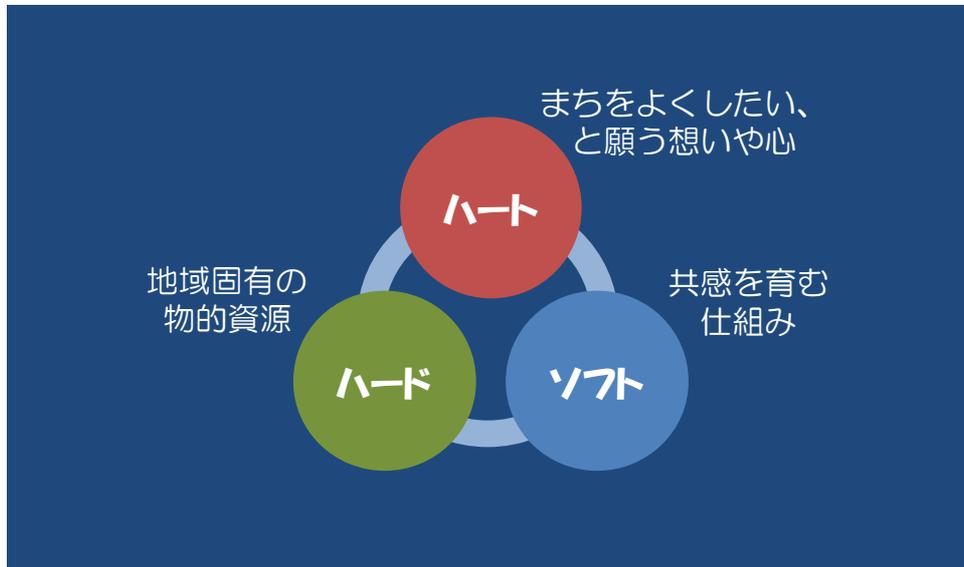
まちづくりのスタートは、十人十色
まちづくりとは、
まちを想う心と、「つくる」という自発的な行動が
合わさったときに生まれるもの



地域をとりまく多様な視点



まちづくりの三要素



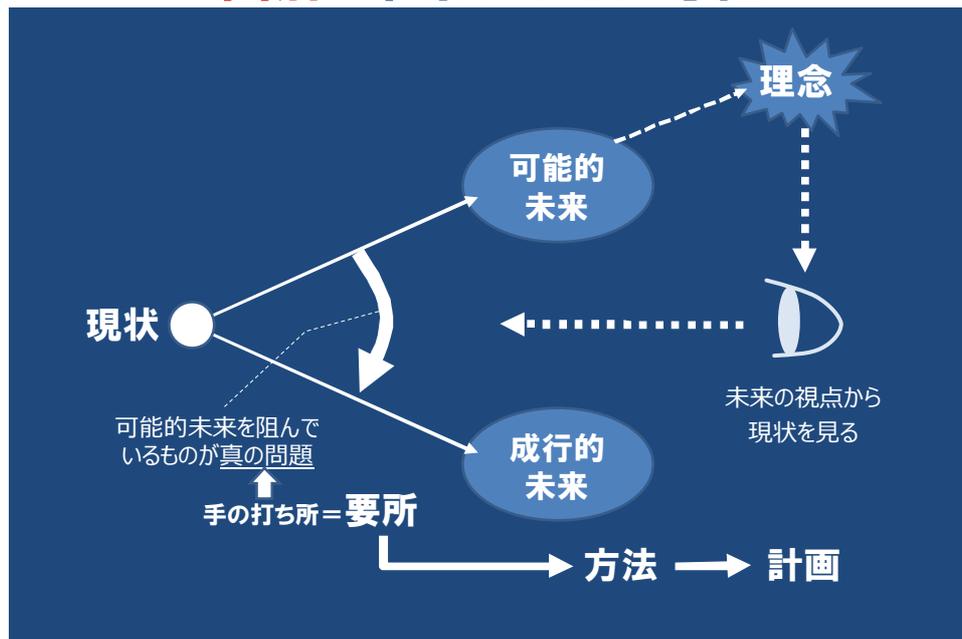
まちづくりの進め方

- 1** 住民の夢と望みを共有する
- 2** まちの宝物を発掘する
- 3** 宝物を活かすプランをつくる

まちづくりを考える手順 未来デザイン考程

- 1 **理念設定**： 何のためにやるのか究極の目的を明確にする
- 2 **現状把握**： 好ましい現状と気になる現状を整理する
- 3 **未来予測**： 可能的未来と成り行きの未来を描く
- 4 **要所解明**： 成り行きを変える手の打ち所を探す
- 5 **方法立案**： 実現のための方針・方策を立案する
- 6 **計画編成**： 具体的な作業手順を整理する

図解 未来デザイン考程



未来デザインとは

まちづくりへの住民参加の重要性が叫ばれていた1990年代、様々な地域のまちづくり計画に携わっていた新潟市の清水義晴さんが考案した、まちの「未来」を「デザイン」する手法。

新潟発のまちづくりツールとして、講座や現場での実践を通し、全国で活用されている。

デザイン = 設計する / 計画する / 立案する

未来の視点でまちを見つめる

バックカスティング

Back Casting

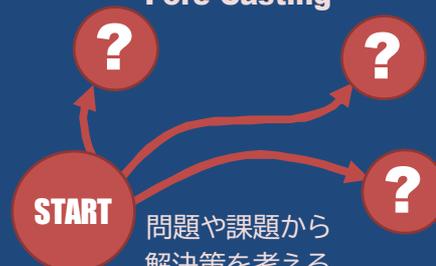
未来のあるべき姿から現状を捉え、達成に向けたステップを考える



フォアカスティング

Fore Casting

問題や課題から解決策を考える



SDGsとは？

Sustainable Development Goals 「持続可能な開発目標」



2015年9月の国際連合サミットで採択された「我々の世界を変革する：持続可能な開発のための2030アジェンダ」に掲げられた17の目標と169のターゲットのこと。

その実現のためには、**搾取せず、搾取されない社会のあり方**を考え、**そこに向かって計画的に行動していくことが重要**である。

持続可能な地域の条件

食べていける

- 地域に合った産業と雇用の創出
- 起業促進

循環している

- 資源の循環
- 人口と人財の循環

安心と安全

- 医療と福祉の整備
- 防災・防犯対策

人交密度

- コミュニティ強化
- ビジョンの共有
- 地域経営のしくみづくり

秋葉区の暮らしやすさに関する意識調査

目的

1

区民自らが「秋葉区に暮らす幸せ」とは何かを考え、地域の資源と強みを再評価すると共に、地域の魅力を内外に発信するための材料を得る

2

地域の課題を明らかにし、新潟市政および秋葉区政に反映させると共に、秋葉区自治協議会の事業立案の参考にする

調査概要

期間： 令和3年8月10日～10月8日

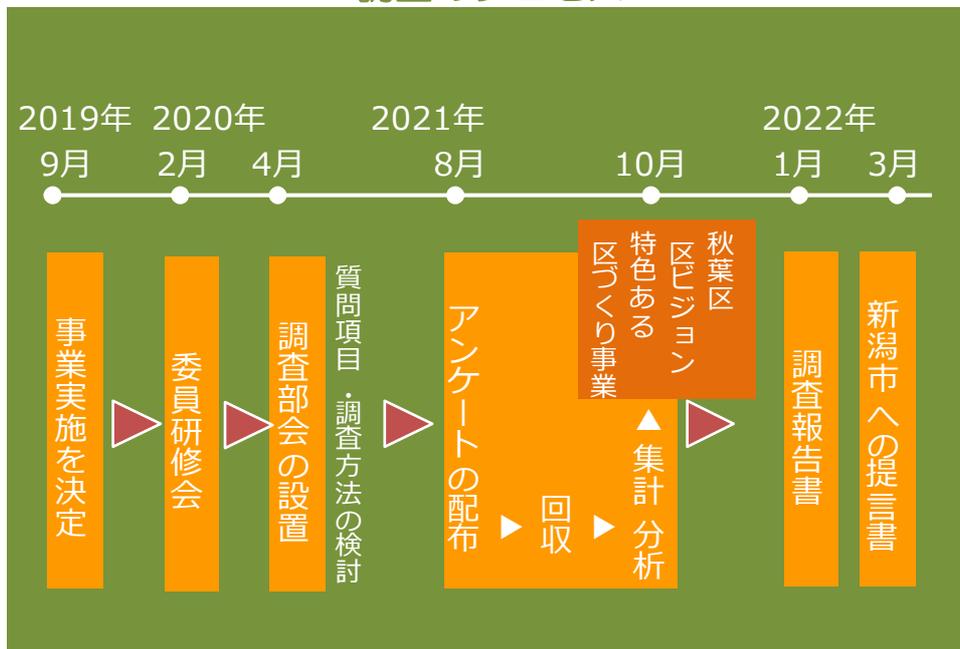
対象： 令和3年4月時点で秋葉区在住15才以上の中から無作為抽出された2,000人およびウェブ上での回答者募集

回答数： 1,035件（うちウェブ募集による回答143件）

アンケートの設計・集計と分析：

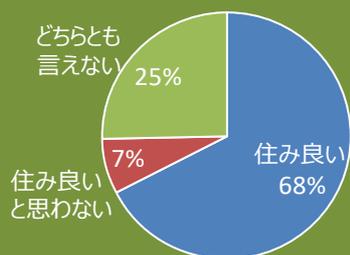
自治協議会が設置する調査部会を中心に
行い、大学やまちづくりNPOの協力を得る

調査のプロセス

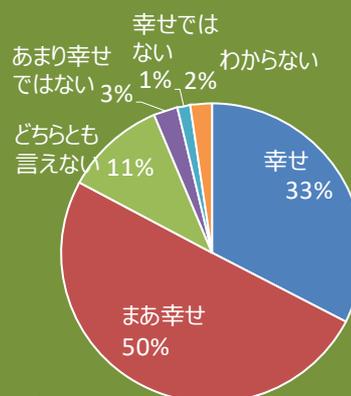


【調査結果】住み良さ・幸福感

秋葉区は住み良いか



あなたは現在幸せか



「幸せ」にとって重要なこと

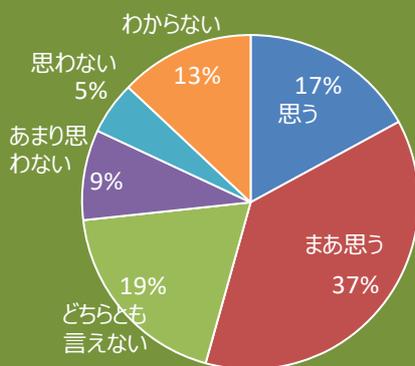
- 1位 健康 (664)
- 2位 家族のつながり・調和 (462)
- 3位 所得などの家計 (328)

【調査結果】 住み良い理由

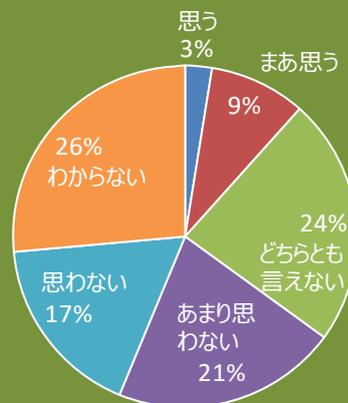
- 1位 災害が少ない (393)
- 2位 交通上の利便性 (324)
- 3位 買い物や食事に便利 (308)
- 4位 自然豊かである (295)
- 5位 犯罪が少ない (210)

【調査結果】 仕事

仕事と生活のバランス
はとれていると思うか

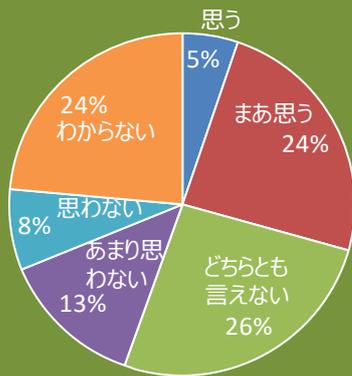


秋葉区は仕事がみつきやすく
就業しやすいと思うか

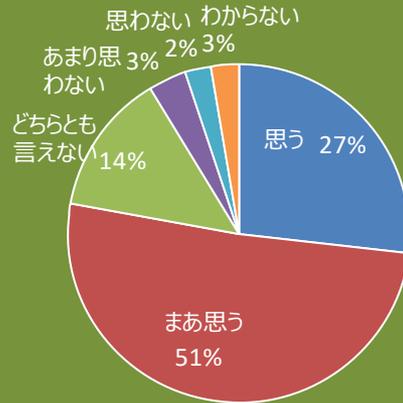


【調査結果】安心と安全

秋葉区は高齢者や障がいのある人にとって暮らしやすいと思うか

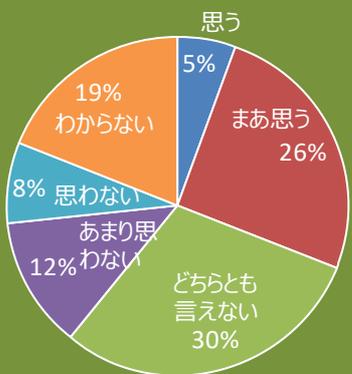


住んでいる地域は安心して暮らせると思うか

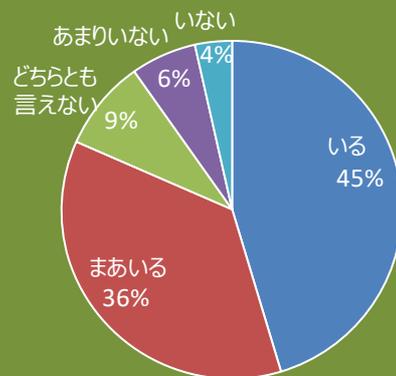


【調査結果】コミュニティ

住んでいる地域では困った人への助け合いはできていると思うか



大切なものや価値を共有できたり共感できたりする人がいるか



コーディネーターの必要性

“まち”には、
いろんな**思い**がある
いろんな**資源**がある
いろんな**場**がある



効果的・発展的に
コーディネーターする
必要がある！

リーダーからコーディネーターへ

独断先行型の
「リーダー」



発掘調整型の
「**コーディネーター**」

広がらない
続かない

共感が育つ
柔軟で持続的

コーディネーターの役割

つなぐ

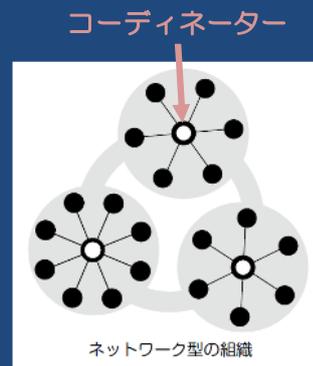
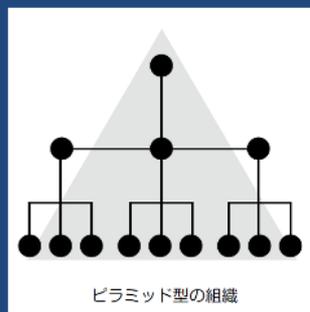
ほこす

まわす

聞く
紹介する
窓口になる
企画する
地ならしをする

役割をつくる
励ます
新しい風を吹かせる
まとめる／蓄積する
発信する

組織の形



それぞれのよいところ
を活かし合う、風通し
のよい組織

